

第6回 甲田地区小学校統合準備委員会 要点録

開催日時：平成 26 年 11 月 26 日（水）午後 7 時～9 時 50 分

開催場所：甲田支所（2 階会議室）

参加状況	<p>■委員会委員（敬称略）</p> <p>◎豊原 稔和 甲立小学校区内の振興会代表（委員長） 明木 一悦 小田小学校区内の振興会代表 今村 佳岳 小田東小学校区内の振興会代表 原田 和雄 甲立小学校保護者会の代表 田邊 介三（欠席） 甲立小学校保護者会の代表 足助 智恵 小田小学校保護者会の代表</p> <p>○新田 敦宏 小田小学校保護者会の代表（副委員長） 岩田 幸雄 小田東小学校保護者会の代表 岩谷 典亮 小田東小学校保護者会の代表 秋岡 賢慶 甲立保育所保護者会の代表 原田 久美子 小原保育所保護者会の代表 富永 美香 小田東保育所保護者会の代表 山平 弥生 甲立小学校の校長 川本 和暁 小田小学校の校長 信末 実智則 小田東小学校の校長 宮本 直彦 甲田中学校の校長</p> <p>■安芸高田市</p> <p>叶丸 一雅 安芸高田市教育委員会教育次長 児玉 晃 安芸高田市教育委員会学校教育課長 二井岡 直文 安芸高田市教育委員会学校教育課主幹 土井 実貴男 安芸高田市教育委員会教育総務課長 柳川 知昭 安芸高田市教育委員会教育総務課学校施設係長 倉田 英治 安芸高田市教育委員会教育総務課学校施設係専門員</p>
傍聴	2 人
会議次第及び資料	<p>会議次第</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 開 会 2. 諸般の報告 3. 協議事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 統合協議について (2) 教育振興部会からの報告について (3) 今後のスケジュールについて (4) その他 4. 事務連絡 5. 閉 会 <p>【資料】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1：今後のスケジュールについて
会 議 概 要	
事務局	1. 開 会

	<p>第 6 回目の甲田地区小学校統合準備委員会を開会致します。本日は田邊委員さんが欠席でございます。それでは進行の方は、豊原委員長さんのほうでよろしくお願い致します。</p>
委員長	<p>皆さまお疲れさまです。諸般の報告があれば事務局からお願いします。</p>
事務局	<p>2. 諸般の報告</p> <p>今日は教育振興部会からの報告があります。今後の事務的な手続きについても提案をさせていただきたくております。次第の順番とは異なりますが、最初に教育振興部会から協議内容の報告を受けて、会を始めていきたいと思っておりますので、お願い致します。</p>
委員長	<p>まず、教育振興部会からの報告を頂きたいと思っております。その後、統合協議についての話を進めていきたいと思っております。</p>
教育振興部会長	<p>私は教育振興部会長です。統合準備委員会の中に三部会（総務、教育振興、学校史編纂）あると思います。この三つのうちの一つが教振興部会でございます。教育振興部会は何をするところかと言いますと、教育内容を扱うということで、例えば、教育課程の編制とか統合に向けた前年度の交流をどうしていくか、というようなことを話合う部会でございます。</p> <p>甲田地区は、私を含め 12 名の委員がおります。これまでの経緯ですが、甲田地区の教育振興部会は 2 回行っております。併せて 3 地区合同の教育振興部会も 2 回行っております。この合同教育振興部会を行った理由ですが、それぞれバラバラでやっていくのではなくて、合同部会では市の計画として進めているものなので、ある程度統一できるところは統一していこうという調整をするのがひとつありました。では、計 4 回の協議結果をお話ししたいと思います。</p> <p>協議項目第 48 号「地域交流事業について」</p> <p>甲立小学校、小田小学校、小田東小学校でそれぞれ実施している地域交流事業（梨の栽培、学校田の活用等）については、統合校においても引き続き実施することを基本とするが、全体の授業時数や他の活動等も勘案し、最終的には、統合校の校長が実施の可否を判断するものとする。という提案でございます。</p> <p>協議項目第 49 号「特色ある教育活動について」</p> <p>甲立小学校の「五龍太鼓」、小田小学校の「大土山田楽」については、統合校において学校活動として実施しないこととする。市内の他の小学校の例にならい、統合を機会に、学校で行うことと地域が行うことの整理をさせていただき、地域の伝統文化の継承活動については、地元保存会を中心に行っていただくようお願いしたい。というものでございます。</p> <p>協議項目第 55 号「事前交流計画について」</p> <p>統合前の児童の交流をどうしていくかということでございますが、統合前年度に、各学年 3 回の事前交流を基本とし、交流内容は 3 小学校長が協議し決定するというものでございます。</p> <p>① 1～4 年生は学期に 1 回、計 3 回実施する。</p> <p>② 5 年生は「宿泊体験活動」を 1 回とカウントし、1 学期と 3 学期に実施する。</p> <p>③ 6 年生は「修学旅行」を 1 回とカウントし、1 学期と 3 学期に実施する。</p> <p>どの学年も 3 回は交流するというものでございます。以上 3 つの提案をさせていただきました。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。教育振興部会からの報告について、今回は報告頂いたということで、現時点で委員の皆様の中で疑問点がありましたらご意見お願いします。</p>

委員	事前交流計画についてですが、提案内容の中で学期に1回というのは、1日としてのカウントなのか時間のカウントなのか、教えてください。
委員	今の件につきましては、生活科で交流するとかパルパへ行こう（店内学習）とした場合、小田小からJRで来てもらうと時間が掛かると思います。折角、交流するのだから来て1時間でさようならというのではなくて、半日は交流する形で実施したい。給食がありますので午前か午後で、一応半日という案が出ています。
委員長	統合前のことなので、保育所の入学者はどうするのか保護者は疑問に感じることはないかと思いますが、いかがですか。
委員	私は、特に疑問には感じません。例えば、小学校3校が同じ中学校になるというのと同じ感覚で、今は年1回交流がありますが、交流をもう少し増やせばいいと思います。
委員	保育所の交流については、教育振興部会とは管轄が違うので、保育所の保護者会に頼んだらいいのか、ここで保育所のことも話をしたら伝えて頂けるのか、また別ルートで話をしないといけないのか、ちょっと疑問に思いました。
委員長	準備委員会の中で、就学前の子どもについての在り方を議論していくことになると思います。今後の細かい議論については、準備委員会の今後の課題として、継続して協議していく必要があると思います。
委員	特色ある教育活動の中で、五龍太鼓や大土山田楽の今の活動自体は、小学生が入ってくれて盛り上がっているところがあるんですけど、田楽とか地域の代表の方とも相談されて、決定されたことなのでしょうか。
委員	代表の方とは、話はしておりません。
委員	今までずっと共同でやってきている中で、代表の方とも話をしてみることは必要だと思いますが、どのようにお考えでしょうか。
委員	確かに、代表の方とともに学校と地域でやってきたというのがあると思いますが、新しい学校を作り上げるというところで、統合するメリットを最大限に活かした特色ある学校作りをしたいということで、これはこの地区に限らず他の地区によっても、地域のものは地域にお返しして、新たな特色あるものを作り上げていこうということを合同教育振興部会でも話をしているところです。
委員	ここの会議は、甲田として魅力ある学校にしたいという意見なんです。だから、よその学校がどういう形を取ろうが我々としては、甲田としての魅力ある学校作りということで、これまでの地域の伝統文化の継承とか大切なことだと思うんです。もしできれば、もう一度その辺りを代表の方を含め協議をお願いしたく要望します。
委員	<p>事前にPTAで集まって話をするとき、こういった取組みがどうなっていくのか疑問の声として上がっていたのを思い出しまして、提案内容には、他の小学校の例にならいとありますが、他の学校にならうというのは、今そういう状態だから統合校もそうすべきというふうに考えられたのかということが聞きたかったのと、学校で行うこと地域が行うことの整理というの、今まで一緒にやってきたことをばっさりやめてしまうのは、地域の方も大変じゃないかと感じていて、代表の方と話してみることがいいのかなと思います。</p> <p>先ほどの質問の中のお答えで、統合するメリットを最大限に活かした特色ある学校作りをしたい、新たな伝統文化を作り出すために伝統文化は地域の方にお任せするというふうに聞こえたので、特色ある教育活動は具体的にどういうことが話合われているのか。今ある伝統文化の継承を大事にするというのも特色ある教育活動の一つではないのかなと私自身思います。</p> <p>どういった議論で結論がでたのか、もう少し議論の経過等を補足していただきたいです。</p>

委員	<p>教育振興部会で、甲田の特色を最大限に活かして、そのために新しい学校に合う特色を考えております。一つは、これからの教育に必要である学びの変革ということで、これまでは知識をどんどん入れてそれが膨れ上がってそれを活かしていくというふうな捉えだったのですが、これからは価値を作り上げていく、その学んだ知識を基礎として、それを基に新しい価値を作り上げていくという教育が進められていきます。(県教委ホットラインホームページ参照)</p> <p>学びの変革計画プランでは、12月までにプランが作成されるということを聞いておりますが、その中で特徴的なことは、特に今すぐできることとして、総合的な学習時間を充実させるということが挙げられております。本部会では、そういったところに着目して、地域から学ぶといったところで、これまで、3小学校それぞれの地域のことを学んでおりましたが、統合することによって更に広い地域甲田町全体を学んでいくというところで、甲田町に誇りを持つ子どもを育成していこうという案で進めているところでございます。</p>
委員	<p>今現在は、小学校と地域が一緒になって取り組んでいるということなののでしょうか。</p>
委員長	<p>小学校の活動は全部が全部じゃないと思います。それぞれ地域伝統をやっているところはやっていると思います。</p>
委員	<p>統一した考え方があったわけではなく、各学校や地域に伝統文化を取り入れるかどうかは任せていたけれども、統合をしていく中で、基本的なスタンスを出していこうというのが、合同の教育振興部会で話われたという感じなのですか。</p>
委員長	<p>安芸高田市全体を見通せる小学校の子どもの在り方を最終的に目指すという感覚だと思います。</p>
委員	<p>前回、校長の声が聞きたいという話がありましたので、口火を切ってみようと思います。</p> <p>教育振興部会の方から話がありましたが、私自身の考えは伝統文化を継承しないということではなく、教育内容としてどう位置づけるかを学校の中で考えていかなければならないことだと思うんです。それぞれの地域の伝統文化は大切にしていけないといけないし、統合した後、時間的なこと地理的なこといろいろな問題を総合的に考えたときに、どのような形で子どもたちに伝統文化を伝えていくのかということは、また考えていくことだと思っています。</p> <p>この統合の話が出たときに、甲立小のPTAの方々と話をする中で、甲立小という名前がでましたが、甲立小へ集まるという考え方ではなく、新しい甲田の学校を作ろうという意見が出ていました。障害も色々ありますが、学校も保護者も地域も、よりよい学校を作っていこうという意識にならないといけないと思います。いろいろな問題が出てきますが、それはそれぞれの部会で100%みんなが納得することはできないかもしれませんが、より100%に近づけるようにするにはどうしたらいいかの話し合いを皆さんと理解しあいながら、時には折り合いをつけながら、学校と地域が同じ方向でやっていかないと伝統文化だけではなく、いろんなことでうまくいかないのではと思っています。</p> <p>この伝統文化については、学校はノータッチということではなく、どういう形で伝統文化を引き継いでいくか、それぞれの地域性、取り組みがありますので、生み出すということができたらと思っています。</p>
委員長	<p>教育振興部会の議論の途中経過は、中身が見えないところがありますが、新たな小学校を作り上げていくときにどうあるべきか、ということを中心に議論をされているのだと思います。先生方は教育の専門家なので、ある程度は任せていかないといけないけれども、地域それぞれの特色を、時間を掛けて話し合いをしていく中で、進展できるもの、取り入れてもらえるものは取り入れて、学校の授業の負担、経営上の負担にならないような形で地域としては手助けしていく必要があるのかなという感じが致します。</p> <p>教育振興部会の議題については、準備委員会に報告があった段階で協議検討していくという形で、</p>

	今日の報告については継続課題ということで終わらせて頂きたいと思います。
委員	提案書に原案のとおりと記載されていますが、決定したということですか。
委員長	それは、教育振興部会で決まったことであって、準備委員会で決まったことではありません。あくまで、この提案書は教育振興部会の報告書です。 前回、校長先生からご意見を頂きたいということでしたので、各校長先生から引き続きお願いしたいと思います。
委員	小田小学校は、前回の準備委員会の中で学級編制の問題が出まして、複式の学級編制について不安であると意見が出ていました。そういった声があったことを受けまして、先般、小学校におきましては来年度、複式学級になるであろう該当の保護者に複式学級についての説明をさせていただく機会を設けました。学校側としましては、今段階、ある条件の中で学校としては最善を尽くして、子どもたちに力を付けていくというのが一番基本であるということと話ながら、複式学級の中身について説明をさせていただきました。 学校規模適正化について私の意見は、答申の中に示されている学校規模というものが、一つの基準といたしますか、ベースに考えていかないと結論がでないと思いますので、答申を一つの基準と考えながら、それに近づくためにどうしたらいいかという議論でないとなかなか難しいかなという思いがあります。
委員	私の教育ビジョンとしましては、安芸高田みつや教育のキーワードである「活力、立志、自立、郷土愛に満ちた学校文化を作る」というのが、使命だと思っております。そのためには、常に高い志を持つ子どもたちを育てていかないといけないし、学校というのは常に革新していかないといけない、同じことをやっているとはいけません。これから学校は、常に変化していかねばならないと思っておりますので、変化に対応する学校にしなくてはならないと思っております。常に、前に進むという意味で、しっかり子どもたちに学力、体力、豊かな心をつけていかねばならないと思っております。 子どもたちに大きな夢を持って、その実現に向けて頑張ってもらいたい。その実現のためには、一つの試みとして小田東小では、「ようこそ、先輩」ということで、南極に行かれた先輩がおられたので、おいで頂きました。志を持って、それに向かって取り組まれた先輩がいるということで、大変心強く話を聞きました。あるいは、地図を見ながらこういうものを作りたいということで、志を持って学業なり、いろんなことにチャレンジしていきたいということでした。子どもたちの身近なところから、社会に目を広げていく。そういう生き方とか先輩がいるんだということは、有効な、失礼な言い方ですが教材、資源であると思っております。多様な先輩がいることは、子どもたちに取って財産だと思います。いろんな先輩から話を聞く機会を持つことが、子どもたちを大きく育てていくのではないかと思います。それには、たくさん先輩を持つ規模適正である方が、子どもたちの社会の目を広げていくんだとも考えます。子どもたち一人一人素晴らしい個性、能力を持っていますから、お互い学び合う機会は、なるべく早い方が子どもたちの力を伸ばすきっかけになるし、目を広げることになるんじゃないかと思います。そういう意味もあって、適正規模を考えていると判断していますので、その方向ですることが大事ではないかと思っています。
委員	教育委員会と校長というのは関係が深く、法令的にも校長は、権限を教育委員会から委任されています。教育委員会の方針というのは、重く捉えざるを得ないところが校長にはあります。そういう意味で、教育委員会側の意見になるかもしれませんが、例えば、小中連携で言いますと、3小学校と本校は、特に理科の先生が小学校に行き、教えるということがございます。教育内容もお互いに見に行ったりして研究をしているということがございます。6年間小学校があり、3年間中学

	<p>校がありますけれど、各教科で、6年でピタっときりがいいかという、そうではない教科があるんです。小中連携の研究で言いますと、中1・2年、小5・6年のところで境があるという特色の教科があります。そういうふうなところから言うと、1校になると、連携しやすくなるという実態があります。今まで3校に行っていたのが1校に行く、もう一つ教科を増やすということもあるかもしれません。そういう意味で言うと、答申というのは、いろんな専門の方が協議をされて、出されたというふうなことから重みがあるのかなと。小規模になり複式になっていくことを考えていくと、大勢の中で切磋琢磨していく、生きる力をつけていくという観点から言うと、そういう意味もあるのかなというふうに思っております。</p>
委員	<p>どんな学校でも、そこにある教育環境を最大限に活かして最大の効果を出していくのが、私たち校長の務めではないかと思っています。どんな学校にいても、保護者の方にしたら行かせてよかった、子どもたちにしたらこの学校に来てあの先生と会えてよかった、職員にとってはこの学校に勤めてよかった、地域の人にとってはこの学校があつてよかった、という学校を作っていないといけないと思っています。不変的に大事なことだと思いますし、今後どんな状況になろうとそこだけは、絶対一緒に頑張っていかななくてはいけないことだと思います。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。各学校長さんに意見をお伺いしました。</p> <p>それでは、今日の議題の統合についてのご意見を各自からお話し頂いて、意見を集約していきたいと思しますので、宜しくお願いしたいと思います。</p>
委員	<p>今まで話をしてくて、統合してもいいかなと思っている感じです。でも、その中でどこまでいいのかわからないですけど、統合するならこれだけはやってほしいことがいくつかあります。今、言ってもいいですか？</p>
委員長	<p>それは、またのときにして、今日は、統合するかしないかの気持ちをお願いしたいと思います。それぞれの団体で、保護者の意見なりを集約するのが本来のやり方だとは思いますが、帰って批判を受けることもあるかもしれませんが、基本的に準備委員会は、統合するだろうという前提条件で参加されているという思いでおりますので、はっきりと意思を示してもらえばいいと思います。</p>
委員	<p>私は、条件が合えば統合してもいいです。</p>
委員	<p>先日、複式の説明会に出て、複式のことよりも先生たちの教育者としての思いに感激をして、学校の先生はすごいなってつくづく思いました。複式でも単式でも、今ある環境の中で最善を尽くして子どもたちを教育していきますと先生方が言って下さって、環境が変わるとなるといろんなことを思いますが、なってしまうと先生たちに任せてというか…。今までは学校がどうか、子どもがどうかばかりを思っていたんだと思いました。正直、説明会のとき複式でもいいのかなと思いましたが、でもやっぱり、子どもの将来とか考えたら統合した方がいいと思っています。</p> <p>私は、先生たちの熱意に安心感が出て、統合してもいいのかなと思いました。子どもたちもその環境に慣れていくし、子どもたちと先生たち、私たちが新しい学校を作るほうへ考えてみるといいと思っています。</p>
委員	<p>個人的な話ですが、私の子どもが一時、小原保育所に通っていたことがありました。その時の友だちと甲立小学校で会うことはありませんが、今は週末の児童館やその友達の家遊びに行ったりして、楽しかったと笑顔で話す子どもを見ると、子どもが多いことによるメリットがあるのかなと思います。</p> <p>保育所の保護者から意見をもらうことがあって、現状統合してほしくないという意見はないです。甲立地区の保育所ということがあるので、場所やこうしてほしいってことはありますが、基本的に3つが1つになると、どうなるのかを協議する前提で私は参加しています。いろんな話をしていく中</p>

	<p>で、絶対譲れないことが出てきたときに折り合いがつかなかったら、しないという結論になることがあるかもしれませんが、方向性としては、3つが1つになって、新しい学校を作るとしたら、どんな楽しい学校ができるのか、そんなスタンスで参加しています。</p>
委員	<p>統合に関しては、人口の減少から言っても、いつかはしないといけないと考えておりますので、そちらの方へ向かって協議していくといいと思いますが、小田東小の保護者からは、条件が合えば統合してもいい。この場合は条件も決めていく場なので、条件がどうしてもめめないときには嫌だということではできると伝えてあります。そういう思いで参加していますので、統合するという前提で条件を決めて頂いて、ある程度決まったら小学校の方へ話さないといけないと思います。統合へ向けての話合いはしないといけないと思っていますので、早く条件を決めて保護者に返して頂きたいと思っています。</p>
委員	<p>統合するにあたって、色々大変だとは思いますが、私も統合するという思いで来ています。</p>
委員	<p>私も結論的には統合するという気持ちなのですが、最初の頃は地域のことを考えて学校がなくなったら地域はどうなるのかなという不安はありましたが、学校は学校で、今いる子どもたちがどれだけ生きる力をつけるかとかそういうことを考えるときに、適正な人数は必要なのかなと思っています。校長先生から3校が1校になると連携し易くなるという意見を聞いて、いいところを見て希望を持って、統合を考えていかなければいけないと思いました。</p>
委員	<p>まだ正直悩んでいます。統合すべきというところまではいきませんが、多くの委員が言ったように、統合するためにこの場に集まっているわけですし、新しい学校についてもっと具体的に話すべきなのかなと感じています。最初に私が準備委員会の中で、学校の位置を決めてから具体的な専門部会に下ろしながら議論を進めましょうと提案させてもらって、本日に至っていますが、5回までやって具体的な議論が準備委員会ではできないということに気づきまして、一生懸命考えはしますがこのままいくとズルズルした議論になると。モヤモヤした気持ちから第5回のときにそろそろ決めましょうということに繋がったのですが、第6回を迎えるにあたって、それぞれの思いを持ってきて下さいと委員長さんに言われたので、いろんな人にも相談してもらいました。子どものため統合すれば希望なり開けた未来とか夢も広がるような気もしつつ、一方ではどうなるのかという不安がありますので、非常に重たい気持ちなので人に相談しないとしんどいなという思いがあります。</p> <p>人に相談したときに、「自分一人で背負わなくてもいいのでは？準備委員であっても全部背負う必要はないのではないかな、もう少し具体的な議論を進めてみて、それからそれぞれの小学校の保護者の方に図ってみて、どう思っているのか決めるっていうのも一つの手だ」ということを言われました。そこで、気づいたのはやっぱり準備委員会ではなくて、専門部会を具体的に動かして行って、具体的な新しい学校のイメージを作らないといけないのではないかなと感じました。ただ、そうなる大きな問題になるのは、3つの学校でどう部会を動かしていくのか、それぞれの学校の具体的な学校案を出すのかということも相談したら、それは非常に不効率なので、他の保護者の方にも相談して教育委員会が示している答申の甲立小学校を優先に考えてみようかという話が出ました。順番に一つずつやるにしてもやっていく必要があるのかなと思いました。専門部会で具体的な話をしながら具体的なイメージ、保護者に説明できる形を作らないといけないと私は感じています。</p> <p>来年は保護者ではなくなりますから、この議論を途中でバトンタッチしなくてはいけないので、いくらか形にしなくてはいけないという焦りもあります。私なりに整理したのは、専門部会を具体的に動かす必要があるということです。そのときには、熱い気持ちを持った保護者がこの準備委員にいらっしやいますので、部会は保護者の中で部会長をやらせて頂きながら、自分たちの思い、意見なりを出やすい雰囲気を作らないといけないのかなと個人的には思っています。</p>

委員	<p>私の意見は、子どもが減少しているということもありますし、財政的に安芸高田市が非常に厳しいという現状で、毎年何億の借金が出る状況を見ると、統合するっていうのが仕方ないことだと思います。統合するにあたっては、まず場所をどこにするかっていうことを早く決めて条件を決める。そうじゃないと、いろんな条件を決めることは難しいと思いますので、なるべく早い段階でどこにするか決めて、話し合いをする中で、絶対にこれだけは譲れない条件がでた場合、統合しないという結論になってもいいと思っています。</p>
委員	<p>今回スケジュールが出ていますけど、一番当初に話をしました小中一貫校とか併設校とかの話を協議すると言われました。また、視察についても、これは絶対しないといけないという委員長の言葉もありました。その辺りの進捗が聞きたいです。このスケジュールの中に、全く入っていないので、ほっとけばいいと思われているのか、ちゃんと検討されているのか、どこまで進捗があるのか全く見えないのが一つです。</p> <p>もう一つ聞きたいのは、複式になると言われています。いま、小原では人口を増やそうとしています。もし、子どもたちの人数が増えたとしたらこれはどのように思われるのか。一年間で、どれだけ増えるかわからないですが、難しい話なのでこの話を出す必要はないかもしれませんが、その辺りどういうふうにお考えなのか、保護者の方はそれでも統合した方がいいという結論になると思いますが、いろんな条件を出して議論をした上で、こういうことを聞かれるのであれば、すぐ答えられると思うのですが、月 1 回短い時間で議論がままならない感じでやられてきました。結局、教育委員会が示した線に乗れということで進められてきた気がします。委員の方は協議をしっかりとされています。地域としては、学校をどうするのかという問題にも係わってきます。私が聞きたいのは、場所が決まって学校を改修する必要がある、我々地域が使うのであれば、その予算はどのように考えられているのか、どういうふうにしたらもらえるのか、その辺りまで議論して頂きたい。学校というのは、地域の振興なんです。振興の拠点だから文化継承についても、どんどん薄れていく、地域が廃れていく形を思うんです。私は地域の代表で来ているので、教育面の話はしませんが、そういったことをもう少し議論された上で、こういう質問はされるべきだと思います。</p>
委員	<p>この準備委員会について、統合するかどうかを最初に言いだしたのは私だと思いますが、統合云々の話の前に、統合することによって、何がメリットで何がデメリットなのかと思うんです。それが、明確にできているのかと思って、メリットはたくさん的人数の中で子どもたちの教育環境が整う、でも実際にどういうふうに整うのかなと思うんです。統合しなかったら、どういうデメリットやメリットがあるのか、やってみたいなと私は思いました。</p> <p>統合するかしないかで言えば、しないといけないだろうと思えるのが私の意見です。統合するのが再来年になるのであれば、3校連携っていうのは特に必要になってくるのか、なお且つ、各クラスの教育状況っていうのも、きちんとすり合わせていかないと一緒になったときに学力の差とか出てくる可能性があると思うんです。保護者の考え方もきちんと合わせておかないとおかしな方向へいくのではないかと私は思ったりします。委員さんが言われる通りで、新しい学校作りの話が進んでいない状況で、どういうふうに視察の件とか入れていくのか前に進んでいない状況もあるので、今後、統合云々もありますが、その内容をどの各委員会で話をするのか、やっぱり議論していかないとけないのかなとも思いました。ただ、基本路線としては甲立小学校で新しい学校作りをしていくと私は思っています。</p>
委員長	<p>基本的に、ご意見頂いた感想としては、条件が合えば統合はやむを得ないという方向で進めていくというのが主流で、小中一貫校や視察の話は、統合の有無がわからない状況での議論はできないと私は思います。</p>

	<p>そういったところは、専門部会に下ろして学校の場所であるとか具体化していく段階で条件の整備がなされると思います。専門部会の中で話し合ったことを、もう一度この準備委員会の方で、最終結論を出していく段階が一番いいと思いますが、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>その専門部会でやっていただくのはいいと思うんです。ただ、先ほど言ったように地域をやはり考えて頂きたい。教育委員会だから子どもたちの教育のことだけ考えればいいということではないんです。学校というのは地域に取って大きな財産なんです。これが無くなるということは、地域が廃れるということなんです。そこを十分に加味して、地域を交えて話をしてもらわないと「学校で決まったので田楽はしません」と言われると、田楽の方はショックを受けられると思います。そういうことを考えながら、教育委員会も地域がどういうふうになるのかを計画立ててほしい。総務部会ではそういう話をして頂きたい。</p>
委員	<p>教育振興部会の報告書の中に、地域の伝統文化は統合校において学校活動として実施しないと書いてあって、ショックだったんです。私の思いとしては、3つが1つの学校になっても地域の伝統は残っていて、甲立地区の子が大土山田楽に触れる機会が多くなれば豊かな教育になっていくんじゃないかなという思いがあったので、若干ショックを受けました。地域の伝統文化は残しつつ、一つになっていくことを考えていく場が、統合準備委員会だと思っているので、地域のことも加味した話し合いになればいいなと思っています。</p>
委員	<p>地域に取って学校は財産、校長先生が言われたように現場で地域と学校が一緒になって頑張って教育を実践されていたからこそ、この統合が難しいのかなという思いがあります。</p> <p>私はわからないと言わせて頂きました。このまま足踏みしていても具体的なところを保護者に示せない、甲立小学校の合同三役会議で、「まだそこでもたついているの?」と言われたりもします。</p> <p>相談してみて、統合の有無は先に延ばせるんだと、準備委員の責任はあるかもしれませんが、自分一人で背負う必要はないんだということも感じたので、我々も地域の一員ですし、地域に学校が無くなって学校がどうなるのか総務部会を立ち上げて、少し具体的な議論をしたらどうかなというのが私の意見です。</p> <p>部会は意見の出し易い雰囲気やらせてもらえたらいいなという思いで、保護者の方から部会長をと思っています。私は立候補する気で3月まで頑張ろうと思っています。</p>
委員	<p>私も統合の話が出たときに、地域のことは考えたんですけど、小原の地域でいうと、すごく振興会が活発に活動されていて感謝祭等もどの地域にも負けないぐらい各区がお店を出されていて、団結力があって、絆が拠点になっていて、小さな拠点づくりということで、努力されています。地域の活性があるから統合しても大丈夫というところがあったということをお話させて頂きました。</p>
事務局	<p>特色ある教育活動について、誤解があるといけないので発言させて頂きたいのですが、伝統文化は、学校活動として実施しないとありますが、校長先生が言われましたように、それを辞めてしまうということではないと思うんです。伝統文化については、地元の保存会があるので保存会を中心にしてやっていったらどうかという提案だと思います。他の地域はどうかということもありましたが、私の地域のことを言いますと、高宮の来原小ですが、高宮・美土里は神楽が盛んですので、来原小でも以前、学校活動として神楽をやっていた時期がありました。統合という機会ではないですが、それぞれの神楽団の方で同好会を作って頂いて、神楽団を中心にやっていきたいと思います。何年前のことになりますが、そういうふうに整理された時期がありました。来女木と原田に神楽団がありますが、それぞれの団体を中心に活動をされているということがあります。</p> <p>小学校は、社会の要請もあっていろんなことをしないとけないという現状があります。皆さん知って頂いている通り、大変忙しい現状があります。情報教育とか最近グローバル化に伴って英</p>

	<p>語教育をすとか、私らが子どもの頃に比べてかなりやるが増えています。そういう中で、どこに力を入れていくかということ考えたときに、地域でやって頂きたいものは地域でやって頂きたいという考え方なんだと思います。それで、保存継承活動を辞めてしまうかということではありません。学校として協力できるところは協力するだろうと思いますし、ただ、学校としても学力の定着とか基本的な社会性を身に着けるとか、いろんなことがあるわけです。そういう中で、どこに力を入れるか皆さんも考えて頂きながら、地元でできることは地元でやっていこうという考え方も必要なのではないかと思います。</p>
委員	<p>今の地域の伝統文化ですが、「大土山田楽」「五龍太鼓」を具体的にどういう形でやられているのか私にはわからないんですが、高田原では春日神社で神祇というのを11月3日にやっていますが、これは学校の行事としてやっていることではなくて高田原の3地区の子どもたちが交代で参加するんですが、太鼓の指導とかも地元の方がやっています、学校の行事でやっているわけじゃないですが、今後も子どもが居る限り、この行事は無くなることはないだろうと思っています。だから、学校の行事としてやってないから無くなるということはないと思うので、学校ではやらないといけないことが増えたということもあるので、学校側にはそういったところに力を入れて頂いて、地域でできることは地域の負担になるかもしれませんが、任せてやって頂いて、学校として全く協力しないということではなくて、学校行事としてはやらないけれど、できる限り力を貸して頂く形というふうに考えたら伝統文化が廃れていくことはないかなと思っています。</p>
委員長	<p>今日の意見集約をして、専門部会を立ち上げて具体的な条件を詰めていって、統合については、条件が整えば統合するという方向で、最終的に統合の有無を決めることになると思います。ただし、前提条件となる学校の場所の選定をある程度固定化して話を進めない条件も整わないと思います。</p> <p>今後の身近な議題からすれば、小田小の複式学級の件で、遅くとも来年の1月までには統合の有無を決めた上で、職員加配、予算要求の具体化をしていかないと間に合わないということでした。今の段階でいえば、28年4月の統合となりますが、新しい小学校を構築していくという前提での場所の選定、条件の整備を専門部会で協議して頂くという方向にしたいと思います。いかがですか。</p>
委員	<p>さっき、統合してもいいと言いましたが、私の中では28年4月はスケジュール的に無理だと思っていて、焦って決めてもいいことはないんじゃないかと思っていて、私の中では28年4月はないんです。今の話だと、それに向かって進むっていう感じですけど、複式が単式になるかもって教育委員会さんが言われていましたが、本当にできるのか聞きたいです。加配の先生が来て本当に複式解消できるのかどうか、確認したいのです。今の話だと28年4月に統合という前提で話をするのか、皆さんはどう思っているのか確認したいなと思いました。</p>
委員	<p>私も同感です。28年度の統合は難しいと思います。今の状況で話し合ってきた中で、殆ど話が進んでいない。やっと、ここにきてどうするのかっていう話になってきました。1月に決めますと言っても、来年もこの月1ペースでやると28年は厳しいかなと実感として私も感じています。</p> <p>やはり、いいものを作りたいという気持ちがあります。それであれば、しっかり議論することがもう少し必要なと思います。</p> <p>委員さんが言われたように、壁があるんです。私たちは協働しようと頑張っているのに、教育委員会側が壁を作っている感じがします。私たちは、これはどうですかと言っているのに、教育委員会側はこれでいきますっていう感じなんです。それに対してどうしようとか、県教委に我々が嘆願書を持って行ったり、加配のお願いに行くことはできるんです。協働するためには、どうすればいいのかを教育委員会側はできませんではなく、我々にやってほしいという話があってもいいと思</p>

	<p>うんです。お互いにいい学校を作り、いい地域を作っていこうとしているのだから、是非、その壁をもっと下げてほしいと思います。</p>
委員	<p>スケジュールの話ですけど、正直先が見えないです。何にもなく話をするわけにはいかないのに、28年4月統合目標を掲げてもらうことは自由ですが、多くの委員が言ったように条件次第なんです。または、学校の先生の話に感動したと意見がありましたが、より安心する具体的な学校のイメージがその言葉で補強されていくんだと思います。そういうやりとりがないと、新しい学校のイメージができない、会を重ねるだけでは、統合には近づかないと思いますし、委員さんからの地域の問題もあり私たちも一緒に考えていくとなると、28年4月っていうのはしんどいのかなと思ったりします。</p> <p>委員長さんが専門部会を立ち上げるのであれば、学校の位置をどこにするのか決めた上で議論しないと前に進んでいかないとされたことに深く同感したのですが、そこを決めるまでに5回の準備委員会が必要だったと思うんです。私がこの場で話をしませんかと提案したのですが、ただそれでも無理で、ようやく今ぐらいになって「甲立小学校」答申の案で議論してみようという気持ちになっている状態なのかなという感じです。</p> <p>スケジュールの話をすれば、3つの小学校の統合案は考えられないので、どうしても甲立小で考えていくし、本当に甲立小学校でどういった新しい学校を作るのかっていう、いろんな議論をしないと、地域の方も巻き込んで納得してもらおう、合意形成を取ろうと思ったら、時間が掛かると感じています。</p> <p>新設校や小中一貫校のことも、保護者や地域の方に凶ったら、議論が出てくると思うんです。準備委員会や専門部会で議論しつつしておかないと、私たちが保護者の前に出たときに、準備委員会でも出た新設に対する意見がまた同じように出るかもしれない。議論しつつしたけどこうなったというのがないと、まとまらない気がするんです。新設校や小中一貫校の話も置いておかず、真剣に可能なのかどうなのかを含めて財政的に厳しいという説明はありましたが、みんなが納得する形が一番望ましいので、議論したという感じを作らないといけない感じがします。</p>
委員	<p>28年4月に統合で4月から新しい学校で、新1年生たちも保育所から集まってのスタートってなる予定ですが、イメージが全くわかなくて、これから専門部会でいろんなことを決めていきますが、新しい学校の校長や新しい学校に勤務されるであろう先生方を、前もって教えてもらうことはできるんでしょうか。</p>
事務局	<p>今のご質問ですが、やはり人事ということになると、今まで統合するからという理由で、他の人事より早く公開されるということは全くありません。これは、県内的に言っても、その通りになっています。</p> <p>それから、先ほど言われた統合前の複式解消については、国や県の制度で認められております。ですから、今の県や国の流れの中で、特段大きな変更がない限りは、今の小田小の人数であれば、統合前年度で複式解消の加配は、配置されるという見込みです。ただ、これも必ず約束ということではなくて、それこそ政権とか政治の動きの中で係わってくるものもあると思いますけども、現状では、教員定数の配置の基準の中で、統合前年度に複式解消の加配は、子どもたちの人数であれば、配置をされます。</p> <p>新しい学校の人的なところは、教育委員会を信頼して頂きたいとしか言いようがありません。具体的にこのようなものを配置しますということは、私の立場からも言えないという状況です。</p>
委員	<p>付け加えますと、4月1日にオープンということではなく、いつも25日あたりに新聞発表がありますけれど、統合だから他所の人事より先んじるということはありません。</p>

委員	<p>単式のことですが、再来年にしようとするれば2年先になりますよね。2年になるというわけではなくて、どんなに決定していても前年度のみということなんですね？（はい。そうです。）</p>
委員	<p>仮に28年4月統合目標ということだから、来年度、小田小は加配を付けて頂けませんかというお願いはできないですか。</p> <p>統合しなければ、加配分のお金は返さないということになるのですか。</p>
事務局	<p>そこは、信頼関係の問題になってきてまして、平成27年1月末という数字もこちらのスケジュールに書いてある以外にも、教職員の定数これを確定して教員採用を確定している時期なんです。</p> <p>従って、この時期までに安芸高田市の職員は何名ですというのが、はっきりしていないとスケジュール的に間に合わないということです。1月末から実際の新聞発表の3月末まで間があるように見えるんですけど、実は中では定数の数を確定しているということについては、ご理解頂きたいと思います。</p>
事務局	<p>なんで、そんなに時間が掛かるかということですが、ご存知の通り、教職員は県の職員でして任命権が広島県にあります。それで、教員は全県的な職員ですから、県と市が色々と調整をすることが必要になってきますので、早い時期から動いていくということで3月末から4月の発表ですが、人事も今の時期から色々考えられているということがあります。</p>
委員長	<p>28年4月統合目標は、専門部会・準備委員会で回数を重ねていくうちの中で、合意はしても最終的に、詰めていったらできなかったというケースもおそらくあり得ると思います。</p> <p>目標は目標で、期限を切つてしないと議論が進まないと思います。言われるように、ベストの条件を得ることは難しいと思います。ベストとベターをいかに中和して、専門部会・準備委員会なり地域の方にもある程度これで進んでもいいという合意を得ないと、おそらく無理だろうと思います。</p>
委員	<p>それでいうと、28年4月統合目標で専門部会も動かしていくとしても、なぜこの期限にしたかと言えば、それはメリットが得られるじゃないですか。来年1年間は複式解消加配が得られて複式が解消されるというメリットがあるから、とてもいいように聞こえますが、委員さんが危惧されているように、中途半端な議論をしたら結局、準備委員会の中だけでは盛り上がりました。専門部会でもこれでいけると思ったかもしれません。いざ、地域や保護者に説明したときに突き返されるという怖さが私にはあるんです。合意形成でベターを引き出すと言われましたが、準備委員会や専門部会、保護者も少しは世代後代があるかもしれませんが、そういう人たちが議論しつくしたと思わないと私たちに自信がなかったら、合意は得られないと思うんです。そのためには、時間が必要だと思うんです。他の委員さんも言われましたが、各学校の保護者の考え方は違うから、意見をすり合わせて交流しないと統合してからでも協力が得られないかなと。そのためにも時間を掛ける必要があると思うんです。</p>
委員	<p>期限を切らないといけないとかわかりますが、やっぱり28年4月は無理だと思うんです。来年4月から交流事業が始まって、先生も動いて、子どもたちに来年度から一緒になると4月に言わないといけなくなりますよね？半年話をしたけど、やっぱり出来そうにないから統合を伸ばしますみたいなことは、子どもも不安がいっぱいだと思うし、私はあり得ないと思うんです。</p> <p>親も子も学校も準備が出来ないと思います。</p> <p>一応、私たちは3年任期で3年間話しましょうという目途があって、来年1年は、統合に向けての話をきちんとして、だいたいの目途が経って、地域や保護者方にも、こういう方向でいきましょうとちゃんと提案もできた上で、その次の年に新しい学校作りに向けて、1年掛けて向かっていきたいと思いますぐらいの期間はいると思うので、そこは譲れないです。</p>

委員	<p>28年4月に統合するっていうことに向けての、事務手続きの今後のスケジュールをずっと見ていましたが、学校設置条例の一部改正条例案上程→平成27年第1回定例会で議決とありますが、これは何月にありますか。2月ですか？</p> <p>28年4月に向けて統合しましょうというのに、まだ何も決まっていない状況で、条件もわからないまま条例の一部改正案を出したとして、それが議決された場合、28年4月統合ということは、2つの小学校はなくなるということが先に決まっているわけですか。</p>
事務局	<p>条例というのは、〇〇の学校、〇〇小学校、という内容の条例ですから、あくまでもここに示している通り、合意形成があってからの話なので、あってからの話だとすれば、条例は、何月何日〇〇小学校の名前で発足するという内容の条例になります。</p>
委員	<p>それが、2月にあるっていうことは、それまでに合意形成は得られないと思うんです。合意形成というのは、条件を先に示して、それに対していいと言われて、それからになるので、ここの定例会で議決を取らなければ、間に合わないというのであれば、今からだと絶対に無理だと私は思います。</p>
委員	<p>同意見です。合意形成が得られるかの視点のところ、①主要な項目について特に保護者・地域の合意が得られるかとありますが、個人的な思いかもしれませんが、統合前の交流を大事にしてほしいと思っていますが、それが主要な項目に入ってくるのかと思って、提案書を見たときに、各学年3回、これは小学校のことしかないんですけど、保育所の年長は3つの保育所が1つの小学校に行くことになるかと話をしなければならぬが、教育振興部会なので仕方がないかもしれませんが、なにも触れられてないので、いきなり28年4月に向けて目標に合意形成して下さいと言われても、正直、今のところ無理です。</p>
委員	<p>私のイメージを言うと、部会で具体的な条件を話して、地域や保護者に示せる形ができて合意形成です。ずっと、引っかかっているのが、合意形成どうする？っていう部分です。それがまだ見えない、保護者の中でも見えていない、自分たちの小学校、保育所で地域の人はもっとかもしれないけど、どうやって合意形成するんだろうと思います。合意形成の考え方を一回、どういう手順でやるか整理した方がいいかなと。私たちが思っていることと事務局側が思っていることにずれがあると、スケジュールを考える上で大事なのかと思いました。</p>
委員長	<p>統合準備委員会ができるまで間の期間が1年遅いんです。教育委員会の怠慢としか言いようがないですが、本来、統合準備委員会は、平成25年度に設置がしてあって、26.27年の2年間で話し合っただけで28年4月統合というのが、前提なんです。それは、地域が悪いのかPTAが悪いのか保護者会が悪いのかわかりませんが、私は地域の代表であっても、当事者ではありません。ただ、地域を預かるものとしては、地域の学校であるとか甲田町全体を見通しをするような形で物事を考えていかないと前に進みません。個人の考え方も色々あって確かに違うと思いますが、今のペース月1で専門部会で議論してもおそらく無理だと思います。月に2〜3回、しっかり一個づつ議論して行って、その途中の経過で振興会や保護者、学校PTAに返して議論をして頂き、それを持ち寄って、最終的な結論を出していくという手順を何回も踏まないと、条件は完備されないと思います。</p> <p>あくまでも目標という形で、29年4月というのが最終的にはメインになってくるという感じがします。</p> <p>皆さんが言われるように1月までに合意形成を得ることは不可能だと思います。皆さんご意見を出して頂いて納得して、地域や保護者へ説明できる形で進めていくことが必要だと思いますので、とにかく議論して頂きたいと思います。</p>
事務局	<p>今後のスケジュールをお示ししていますが、これの説明をさせて頂きたいと思います。先ほどから、委員の皆様から十分、協議を重ねて納得をした上で、または地域にしても保護者にしても十分</p>

説明をして、理解を得ながら最終的に合意形成を図った上でということになれば、相当の期間がいと、とてもではないが28年4月は間に合わないという思いの方が多数いらっしゃるということが分かった上で、安芸高田市学校規模適正化推進計画があります。これは、22年度に策定をし、計画期間が23年度から27年度までの5ヶ年の計画になっております。この推進計画が27年度までの計画ですので、計画通り事が進めば、28年の4月に統合というのは、計画上のスケジュールということです。

計画通りに事が進むかどうか、または28年4月に統合できるかどうかというのは、言ってみれば、合意形成が得られたところから事務手続きを進めていくと計画上なっておりますので、今から説明させていただきますが、先ほどから出ています1月末までに合意形成が得られなければ、28年4月事実上、統合は無理ということになります。

少し詳しく見ていきますと、甲田につきましては今年の6月10日に第1回の準備委員会が開催されました。以後、月1回のペースでこの間準備委員会を開催しております。で、本日が第6回目ということでございます。この間、事務局から随時提案をさせて頂いておりますが、例えば、統合校の位置、通学方法、遠距離通学助成、放課後児童クラブ、学級編制等といった項目を協議頂きましたが、本日は教育振興部会の方で検討して頂いた3つの協議項目について部会の報告を受けて頂いたところでございます。こういった準備委員会の中で協議を重ねて頂いた項目、それぞれの部会が開催されると思いますが、総務部会、教育振興部会の中で検討がなされて、報告を受けて頂いた項目の内容等を踏まえて、最終的にこの準備委員会の中で、統合についての合意形成が得られれば、その後、事務局的には事務を進めていくということになります。

28年4月を目標とした場合のスケジュールで言いますと、年明けの1月末までに合意形成を得ることができなければ、28年4月の統合は見送らざるを得ないということになります。と申しますのも、事務的なことが2点ほどございます。来年の2月に召集されます市議会の定例会いわゆる議会において、これから説明します2つの点で議決を得る必要があるということです。一つ目は、関連する予算についての議決を得る必要があります。28年4月となった場合には、27年度が統合前年度に当たりますので、27年度に統合校の整備等を行う必要があります。となれば、27年度に必要な関連経費予算を議決で得ていなければなりません。それがまず1点目の手続きです。二つ目は関連する条例の一部を改正する条例の議決を得るという必要があります。これは推進計画上、仮称ではありますが「甲田小学校」という統合校の名称が示されております。仮に統合校の名称を甲田小学校とするとした場合、その名称を条例で定める必要がありますので、その一部改正条例の議決を得るという事務的な手続きにあたります。以上、二つの手続きを事前に得る必要がありますので、28年4月に統合しようとしたら、1年前の3月に手続きを経て、その後は、1年間ありますので協議項目から言いますと、70項目あります。今まで提案させて頂いている項目はごく僅かです。ごく僅かと言いながら保護者の方々に、特に関心の高い項目から順に提案させて頂いたつもりではありますが、まだまだ十分議論をして頂く、または、詰めて頂かなければならない項目も多数ありますので、仮に議決を得たからと言って、その後準備委員会を開催しないとということではなくて、断続的に準備委員会なり総務部会を開いて頂いて、細かい詰めの作業をして頂くというのが、統合までの1年間の準備委員会の役割になろうかと思っております。

合意形成を得るまでに、十分議論を尽くして、それを踏まえた上で合意形成を得ていく、合意形成をもらいたいということであれば、当然1月末までには時間がありませんので、それはこの準備委員会で判断をされて、引き続き協議をしていって頂きながら、適切な時期に合意形成を得て頂いて、それから事務的な手続きに入っていくというふうなことになると思いますので、28年4月が間に合わないということであれば、1年先の29年4月を目標に協議をして頂くということは当然有り得るの

	<p>で、準備委員会の中で、ご判断をして頂ければと思います。</p> <p>お配りした資料は、仮に28年4月に統合をしようとした場合のスケジュールということで、お示ししておりますので、そこは準備委員会でご判断頂ければと思います。説明は以上です。</p>
委員	<p>安芸高田市立小学校設置条例いわゆる甲田小学校を何年何月に設置しますっていう条例を1年前に作らないといけないのは決まりですか。</p>
事務局	<p>特に必ずそうしないといけないということではございません。他市の統合された例を見れば、1年前の議会で議決を得て、施行期日が一年後の施行期日になるということで、1年間かけて準備をして施行期日を迎えたときに統合ですということになります。</p>
委員	<p>他市の状況でいうと、設置管理条例を1年前に定めてから、条件を話合ったりする場合も多いですか。</p>
事務局	<p>多いと思います。70項目お示ししていますが、統合校が決まった後でなければ、協議がされないということがあります。例えば、校歌であったり、そういった協議項目がありますので、統合校が確定をしなければ、協議が整わない項目がたくさんあります。そういう意味では、1年間掛けてその期間で整理をしていくということです。</p>
委員	<p>私が思ったイメージとは違いますが他市はそういうやり方なんですね、認識として統合校はここにしよう決めてから動くだけではなく、さらに条例できちんと決めた上で、具体的な条件とかを決めていくというやり方が他の市の状況ですね。</p> <p>関連経費予算というのはどんな予算ですか？</p>
事務局	<p>施設の改修等です。例えば、先ほど話がありましたように、事前交流事業をするときは、統合校が甲立小学校となれば、小田小から甲立小、小田東小から甲立小への移動手段あたりをバスならバスの借り上げをしないといけないですし、いろんな統合に向けての準備が必要なので、関連予算は前年度の当初予算に計上して議決を得た上で、前年度に準備をしていく必要があります。</p> <p>例えば、29年4月統合目標で議論を進められるといったときに、29年の4月の直近の議会で議決を得るということでは事務的に回らないということです。一部改正条例案というのは、もしかしたらセーフかもしれませんが、予算をつけて1年前に準備をして整理をしなくてはならないことがたくさんありますので、そこは最低でも1年前の当初予算に計上して議決を得て1年間掛けて準備をしていく必要がありますので、大きくは条例改正と予算の議決のところは1年前には必要です。そういうスケジュールになっています。</p>
委員	<p>前回、複式学級の議案が出てきたので、28年4月であれば加配が付くという大事な情報を耳で聞いてわかりました。スケジュールも今まで出されていたのかもしれませんが、こういう大事なことを今わかった感じで、そういうところで壁があるというのが、情報が今の段階で出るというところに壁を感じるのかなと思いました。</p> <p>1月末で合意形成にならないのであれば29年4月統合となりますが、昨年度ミューズで初めて3校が集まった準備委員会を設置して下さいという集まりの中で、統合にならないといろんな予算が下りてこないから、これから一人一台タブレットを持つような時代になってくるけれど、安芸高田の子どもはできないかもしれないと言われたのが、すごく印象に残っています。それだったら、子どもたちが教育サービスを受けるメリットが減るのかなと思って、それで統合ありきかなと思った印象があるのですが、29年4月に1年遅れるのであれば、情報教育が他の学校より遅れるとかあるんですか。</p>
委員長	<p>英語教育や情報教育等は、年々変わってきていますので、おそらく掴みきれないことが多いと思います。情報教育の端末は、市の教育委員会の方で予算化して議決を得ないと予算はつきません。</p>

	<p>予算をつけるかつかないかは教育委員会の中のことになりますので、予算のことは一般にはわかりません。教育予算のつけ方は、教育委員会と議会のやり取りの交渉結果になりますので、難しいのが実情みたいですね。</p>
委員長	<p>ただ、今言えるのは、25年度に準備委員会が設置できていれば、2年間の協議はできたはずなんです。それが丸1年つぶれている状態なので、28年4月統合は目標にしてもあまりにもハードルが高すぎる状態かなという感じがします。</p>
委員	<p>だんだんと話が堂々巡りになってきていると思います。そろそろ方向性を決めた方がいいのではないかと思います、いかがでしょうか。</p>
委員長	<p>委員さんから方向性という話がありましたが、今日の話の中で条件が合えば統合する、専門部会での条件の具体化を話し合っていくということによろしいですか。</p>
委員	<p>いいですが、合意形成の考え方はどうしましょう。先ほどの説明だと準備委員会の中で合意形成して来年の4月で設置管理条例と関連予算をつけるという話だと思いましたが、私の合意形成のイメージというのは、準備委員として保護者にこう決まりましたって説明して歩くのではなくて、条件を提示するという形なんですけど、統合するならこういう条件で新しい学校ができると。準備委員会のこの場で決めるイメージはないんです。私たちは組織の代表で来ているので、そこへ返さないといけない気持ちがあるんです。</p>
委員長	<p>総務部会で話をした上で、PTAに持って帰ったりして、途中経過の中で一個ずつ詰めていかないと全部を網羅して持ち帰っても、返しようがないと思います。</p>
委員	<p>専門部会を立ち上げる方向ですね。それならいいです。</p>
委員長	<p>専門部会を立ち上げて、地域やPTAに持ち帰って頂いていろんな意見を出して頂いて、最終的に代表としての意思決定をまた専門部会に持って帰ってきて、専門部会で話した上で、準備委員会の方へ上程して、議決をしていくという形になると思います。よろしいですか。</p> <p>事務局から協議項目70項目あると言われましたが、そのうち総務部会での項目は37項目あります。この項目を具体的に詰めていきながら話をしていきたいと思います。</p>
委員	<p>結局、目標は何年ですか。1月に合意形成をするということですか。</p>
委員	<p>この場で決めるのではなく、総務部会を立ち上げて、総務部会の協議項目「統合目標年月日」で決めて、準備委員会で判断するということですよ？</p> <p>第1回の総務部会の協議項目は、「統合目標年月日」になると私は思っています。</p>
委員長	<p>今の段階では、事務局の方から示された協議項目70項目以外にも、案件が出てくると思います。小中一貫校、新設校のこともですし、そういった議論をしていく必要もあると思います。</p> <p>専門部会では、協議項目については、準備委員会の方で提示されています協議項目70項目の協議を次回から専門部会へ切り替えます。委員さん何名か変わられる方がいらっしゃると思いますが、今回は専門部会の会合という形で協議をスタートさせて頂くということで、よろしいですか。</p> <p>それでは、専門部会の協議に入るということで、次回の日程ですが12月15日の（月）に第1回総務部会を開催したいと思いますので、宜しくお願いします。</p> <p>閉会に移りたいと思います。</p>
事務局	<p>今日は熱心に重たい案件のご協議、それぞれ皆様の思いを語っていただけたと思いました。大変お疲れになったと思います。今日は大変ありがとうございました。次回から、総務部会ということになりますので、またご議論いただきたいです。どうも、ありがとうございました。</p>

第 6 回 甲田地区小学校統合準備委員会次第

日時 平成 26 年 11 月 26 日（水） 19 時 00 分～
場所 甲田支所 2 階会議室

1. 開 会

2. 諸般の報告

3. 協議事項

- (1) 統合協議について
- (2) 教育振興部会からの報告について
- (3) 今後のスケジュールについて
- (4) その他

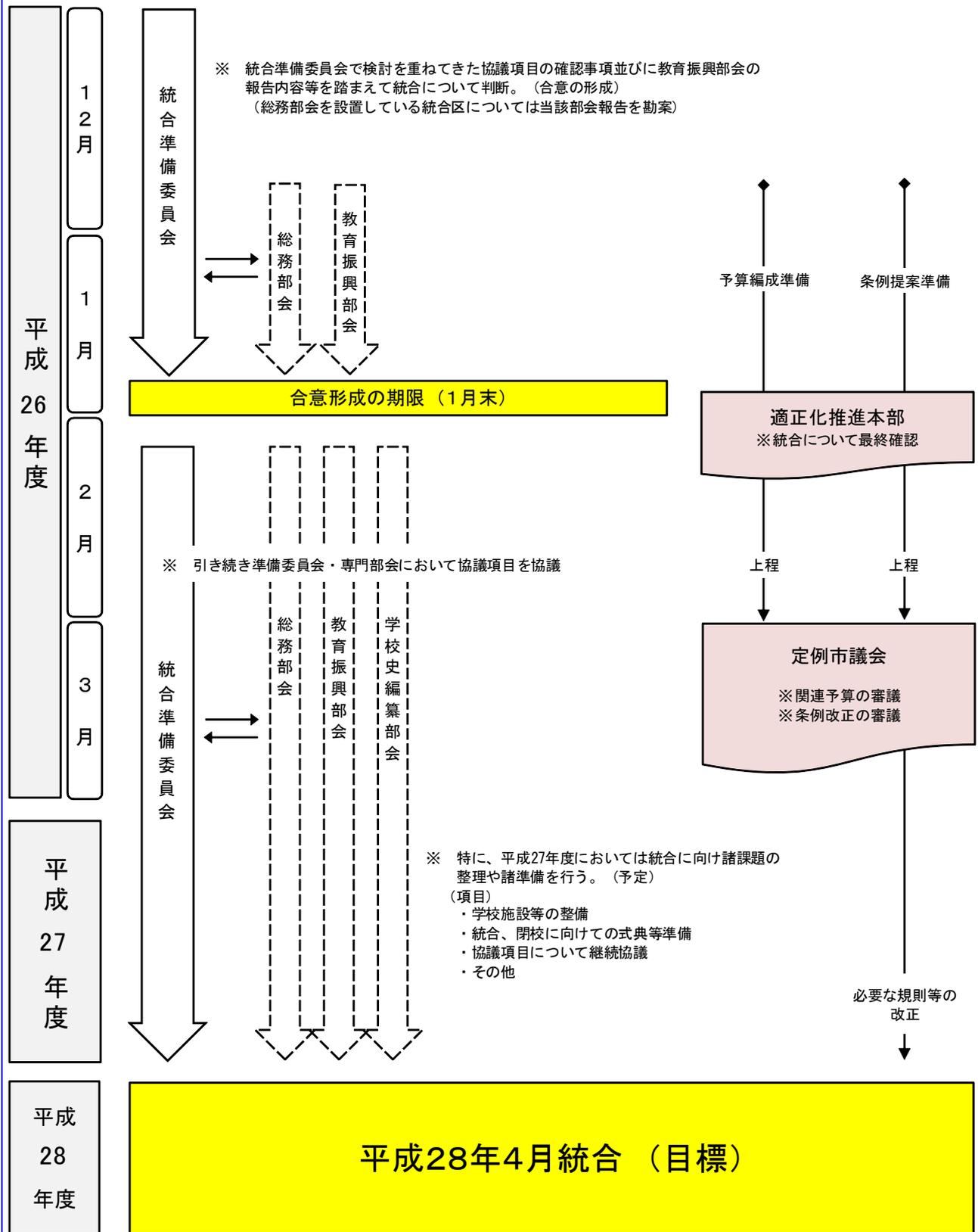
4. 事務連絡

・ 次回開催予定 平成 26 年 月 日（ ）

5. 閉 会

学校規模適正化推進に係る今後のスケジュール

〔平成26年11月21日〕
安芸高田市教育委員会



平成28年4月の統合に向けての事務手続

